

令和5年度 創徳中学校区拡大学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和5年11月7日（火）15：30～17：00

2 場所 鈴鹿市立清和公民館

3 協議

子どもたちをとりまく現状と課題について

～次期教育振興基本計画における主な取組からわたしたちにできること～

○グループ協議

- ・4グループにおいて協議

○各グループからの発表

A： 基本計画はとても素晴らしい。この通りできれば素晴らしいが、先生方は本当にこの通りできるのか。実際にやっていくことが大切だと思う。学校運営協議会の委員も何か具体的に決められるようになれば今後に生かしていける。他に、先生たちの時間、働き方改革についても話した。業務を精査し、子どもと向き合う時間を作れると良い。

B： 主に、生徒、友達、家庭におけるコミュニケーションについて話した。一番身近な信頼できる大人としてはやはり担任の先生。その担任の先生に相談できれば、安心して子どもたちも育っていくことができる。また、別の話題として、学校運営協議会委員を長くしていると、わが子が卒業した後の学校からの情報量が少なく、学校とどんな距離感で関わっていけばよいか悩むことがある。学校からの情報提供もお願いしたい。

C： クロームブック、SNS などについて話題になった。クロームブックの使い方について話す中で、読書のアプリを入れてもらえないかといったことが話題になった。

D： 情報端末については、セキュリティ、使い方をしっかりと指導していく必要がある。また、地域が学校に携わっていくために、地域の歴史を掘り起こしたり子どもたちに触れさせたりすることを鈴鹿市が主体となって行っていくべきではないか。

今日の資料「地域の人と協働する学校」に、より良い学校づくりのために家庭と地域と学校で何ができるかを考える勉強会を開きますと書いてあるが、実際に開かれているのか。例えば、子どもたちの端末について考える勉強会を開く、不登校の子や外国籍の子がどう育てるかといった勉強会を開く等、定期的に関ければよいのではないか。

今日の話合いの内容を受けて、教育委員会がどんな見解を持つか教えてもらえるとありがたい。

4 教育支援課より

勉強会については、これまで、地域 Co との勉強会が実施されている。ほかにも、コミュニティスクール担当の教職員にむけた研修会をもったりした。本日話をさせていただいたようなことを声としてあげていただくことで、また、検討を行い、勉強会等の計画を進めていくと思う。学校運営協議会からもどんどん声をあげていただきたい。